



2026年5月14日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社日本ピグメントホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 田代 喜一
(コード番号 4119 東証スタンダード)
問合せ先責任者 常務執行役員 至田 順彦
(TEL 03-6370-8414)

中期経営計画(“Transforming for the vibrant future 2030”) 策定のお知らせ

当社は、2026年度を初年度とする新たな5ヵ年中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

前5ヵ年中期経営計画では、「“Change&Evolution2025”」として、新たな付加価値を市場に提供する事業領域の創造を行うことで、「次の100年」の当社の成長、並びに持続可能な社会の実現にしっかりと貢献してゆくことを基本方針として取り組んでまいりました。2024年にはPLASiSTとの経営統合というグループにとっての大きな転換期を迎え、次の100年への成長基盤の強化が実現できました。

新たな中期経営計画では、PLASiSTとのグループシナジー創出を加速させるとともに積極的な投資を行い、安定した収益の実現による株主・従業員への還元と、未来への挑戦を推奨することで、魅力ある企業への進化を実現させる計画としております。

記

1. 2030年度のあるべき姿

新たな事業ポートフォリオとなる新規事業の収益化を実現させるとともに、挑戦と変革を推奨し、従業員が自律し成長を実感できる魅力ある企業への進化を目指します。

2. スローガン

**融合と自律、未来を彩り進化し続ける新しい日本ピグメントグループへ
“Transforming for the vibrant future 2030”**

日本ピグメント、PLASiST両社が混ざり合い、一つになっていく「融合」、従業員ひとり一人が考え行動する「自律」、目まぐるしく変化する社会の中で成長し進化し続けるグループを目指します。

3. 基本戦略

1) 収益基盤事業の競争力強化

- ①樹脂コンパウンド、樹脂用着色剤、加工カラーの競争力強化
- ②国内工場の再編と最適地生産の推進
- ③海外事業の競争力強化

2) 価値創出力の強化

- ①成長領域のニーズを捉えた新製品開発の加速と拡販
- ②育成事業の収益力改善と確実な立ち上げ
- ③新規事業の創出推進

3) 人を尊重する経営とガバナンスの強化

- ①人材育成の強化をマテリアリティ(重要課題)として認識
- ②「エンゲージメント」の向上
- ③機能部署の横串活動による現場力強化

4. 計数目標

	2025年度 実績	2026年度 計画	2030年度 ターゲット
売上高(億円)	422	435	550
営業利益(億円)	15	17	30
営業利益率	3.6%	3.9%	5.5%
ROE	5.5%	5.5%	7.4%

(注 1) 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。

以 上

東証コード：4119
日本ピグメントホールディングス



融合と自律、未来を彩り進化し続ける
新しい日本ピグメントグループへ

“Transforming for the vibrant future 2030”

日本ピグメントグループ

中期経営計画 2026-2030

2026.5.14

INDEX

01. 前中期経営計画の振り返り

“Change & Evolution 2025”

- ・グループ業績のハイライト

02. 新中期経営計画

“Transforming for the vibrant future 2030”

- ・グループビジョンと2030年のあるべき姿
- ・新中期経営計画スローガン
- ・当社グループを取り巻く環境
- ・経営目標
- ・基本戦略

03. 事業セグメントと事業戦略

04. 投資計画

- ・計画投資と戦略投資

05. サステナビリティへの取り組み

SECTION

01

前中期経営計画の振り返り

“Change & Evolution 2025”

- ・グループ業績のハイライト

01. グループ業績ハイライト

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

- ・ 2024年度よりPLASiST(旧住化カラー)がグループに加わる
- ・ 2024年度は統合に係る一時費用等の増加もあり
収益は減少したものの、負ののれん発生益68億円により
純利益は大きくプラスとなりROEは29.3%と大きく上昇
- ・ 2025年度にはシナジー効果が数値となって表れた結果、
営業利益15億円を達成

2025年 売上高

422億円

2025年 営業利益

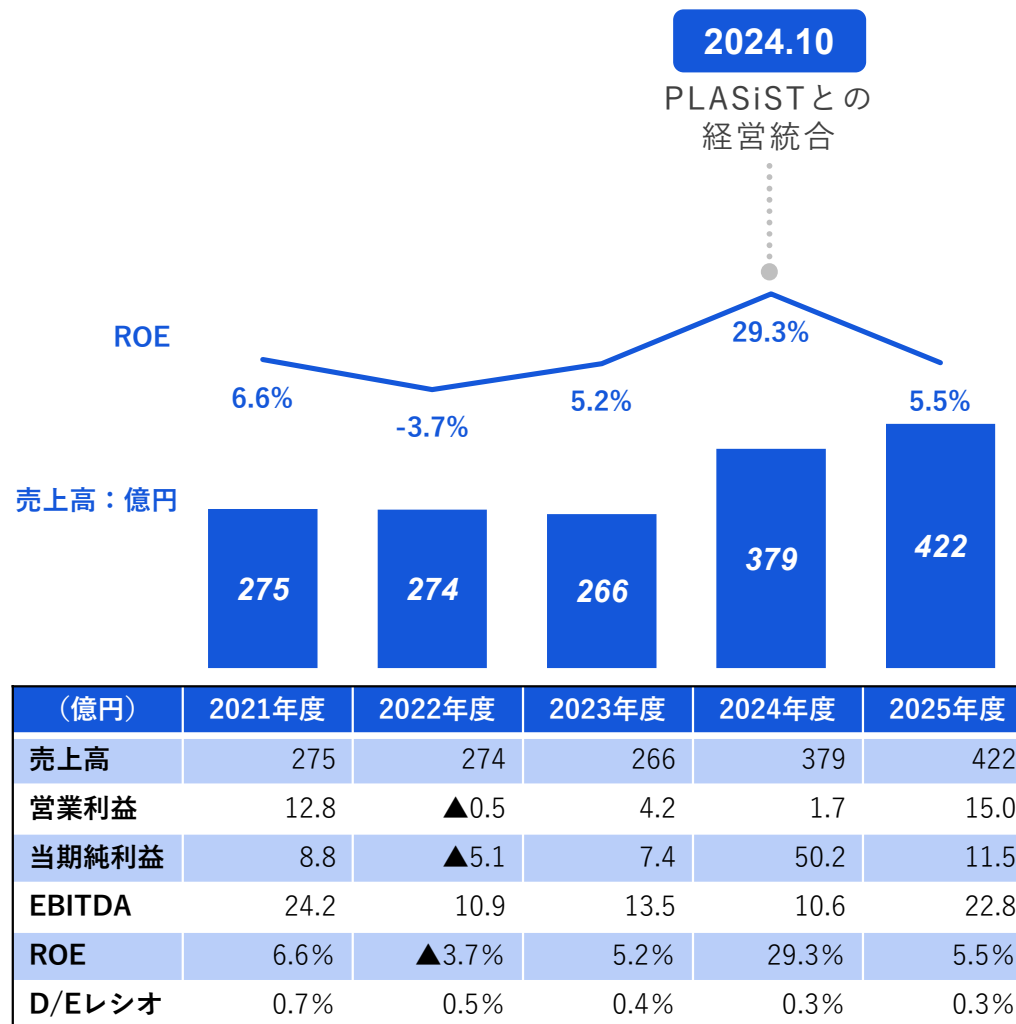
15億円

2025年 当期純利益

11.5億円

2025年 ROE

5.5%



SECTION

02

新中期経営計画

“Transforming for the vibrant future 2030”

- ・ グループビジョンと2030年のあるべき姿
- ・ 新中期経営計画スローガン
- ・ 当社グループを取り巻く環境
- ・ 経営目標
- ・ 基本戦略

02. グループビジョンと2030年のあるべき姿

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

- ・ 2024年に連結対象となったPLASiSTとのグループシナジー創出を加速させるとともに積極的な投資を行う
- ・ 2030年には新たな柱となる新規事業の収益化を実現させるとともに環境配慮製品で社会課題の解決に貢献
- ・ 安定した収益の実現による株主・従業員への還元と未来への挑戦を推奨することで魅力ある企業への成長を実現させる

融合・シナジー創出

重複機能の統合や業務効率化を進めるとともに、現業の競争力強化とニーズをとらえた新製品開発を促進するため、融合とシナジー創出を加速させる

2026-2027
融合・シナジー創出

更なる成長へ

積極的な投資を進め、さらなる成長への土台を築くとともに、資源を成長分野に再配分し製造合理化と高付加価値製品シフトで利益体質を強化

2028-2029
更なる成長への投資

魅力ある企業へ

新たな事業ポートフォリオとなる新規事業の収益化を実現させるとともに、挑戦と変革を推奨し、従業員が自律し成長を実感できる魅力ある企業へ

2030
魅力ある企業へ

魅力ある企業
更なる成長
融合・シナジー

Slogan ——— 融合と自律、未来を彩り進化し続ける
新しい日本ピグメントグループへ
“Transforming for the vibrant future 2030”

Concept ——— 両社が混ざり合い一つになっていく 「融合」
従業員一人ひとりが考え行動する 「自律」
目まぐるしく変化する社会の中で成長し進化を続けるグループを目指す
“Transforming for the vibrant future 2030”
「活気に満ちた未来に向かって変革を続ける」

02. 当社グループを取り巻く環境

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

持続可能な社会の実現に向けたサステナブル製品のニーズ拡大、生成AIやDXの進化によるビジネスモデルや業務プロセスの抜本的かつ急速な変革に加え、グローバルサウスの台頭や中東、ウクライナ、東アジア地域での地政学リスクの高まりにより外部環境は急速に変化。多面的リスクマネジメントと柔軟性が求められる中、日本ピグメントグループとしても変化に対応しながらニーズをとらえた価値の提供機会が増加すると予想。

事業環境

サステナブル製品需要の高まり

- 気候変動対策・カーボンニュートラルへの取り組み拡大
- SDGsへの対応
- GXへの対応

AI,DXなどデジタル技術の進化

- 労働人口の減少による自動化
- 製造業DXの進化
- IoT,生成AIなどの著しい進歩による第四次産業革命の始まり
- SNSやインターネットを活用した広報

地政学リスクの増大と世界経済の変化

- グローバルサウス台頭による世界のパワーバランス変化
- 更なる産業のグローバル化
- 中東、ウクライナ、東アジア情勢

価値観多様化社会

- ダイバーシティ、インクルージョン
- 外国人人材、シニア人材の活用
- 様々なニーズの勤務体系
- 個人の尊重、異文化への理解

グループへの影響

- サステナブル製品開発による収益機会の増加
- 新たな海外拠点進出の機会
- 安定した原材料確保へのリスク
- AI, DX活用による業務合理化の機会
- リスクマネジメントの重要性の高まり
- 急激な人手不足による雇用問題の顕在化
- サステナブル経営推進による企業価値の向上
- 様々な情報ツールを活用した広報活動の可能性

02. 経営目標

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

グループのシナジー効果を最大限に発揮することに加え、長期的な利益確保に向けての投資を進め
2030年の営業利益ターゲットを30億円とする



これまで通りの安定配当を基本とし、DOE 1.0%以上を目標とする。また、業績に応じた利益配分による持続的な株主還元の強化を目指し、PBR0.6以上を早期に実現させることを目標とする。

02. 基本戦略

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

基本戦略 01

収益基盤事業の競争力強化

- 樹脂コンパウンド、樹脂用着色剤、加工カラー(化成品)の競争力強化
(事業拡大、コストダウン、品質力強化、DX推進、安全環境防災、サステナ工場)
- 国内工場の再編と最適地生産の推進
- 海外事業の競争力強化(中国、マレーシア、インドネシアの再編と新規生産拠点の検討)

基本戦略 02

価値創出力の強化

- 成長領域のニーズを捉えた新製品開発の加速と拡販(マスターバッチ、化成品、環境配慮製品)
- 育成事業の収益力改善と確実な立ち上げ(導電ペーストの上市と他の電子材料用途への展開)
- 新規事業の創出推進
(コア技術を生かせる領域での新たな事業機会の創出検討、化成品、電子材料、リサイクルなど)

基本戦略 03

人を尊重する経営とガバナンスの強化

- 人材育成の強化(キャリアシート運営強化、研修制度の充実など)をマテリアリティとして認識
- 「エンゲージメント」の向上
(経営層からのアカウンタビリティ向上と社員との対話の充実)
- 機能部署の横串活動による現場力強化
(法務コンプライアンス、人事企画、財務経理、情報システム、内部監査など)

SECTION

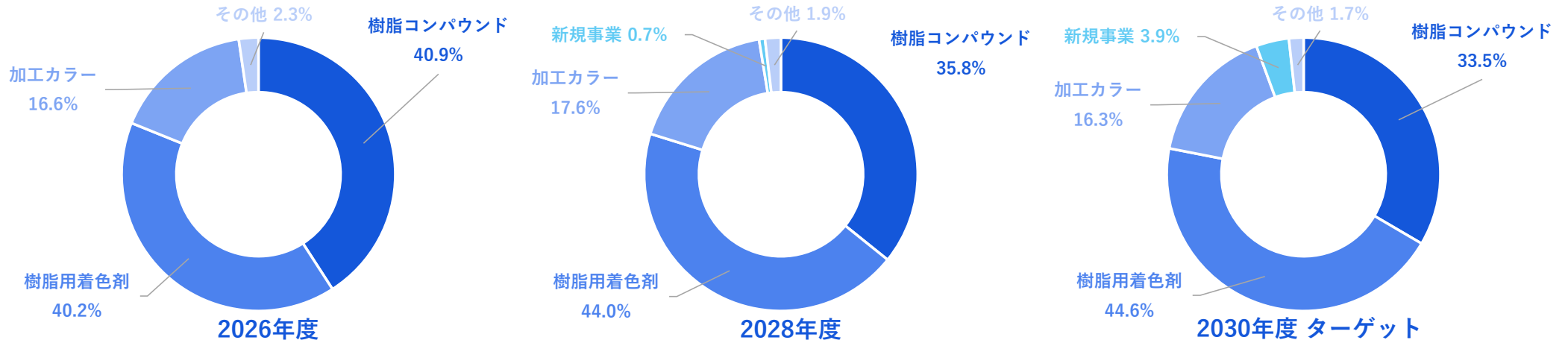
03

事業セグメントと事業戦略

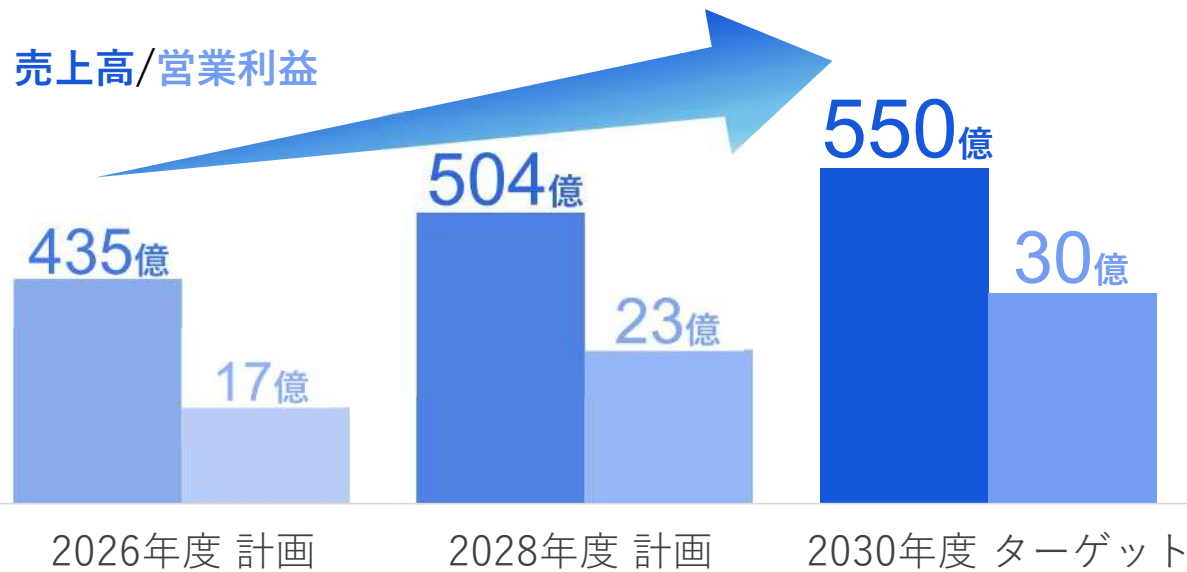
03. 事業セグメントと事業戦略

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

売上高比率



売上高/営業利益



成熟市場である樹脂コンパウンドセグメントは高付加価値品へのシフトを進めることで売上高と収益を維持

樹脂用着色剤は日本ピグメントとPLASiSTのシナジー創出を継続し売上高比率を上げるとともに収益の柱へと成長させる

加工カラーはカラーフィルター事業の高付加価値品へのシフトを進めるとともに、半導体用導電ペーストなどの新規事業への開発リソースシフトを進め、2030年を目処に新規事業を利益ベースに乗せる計画

SECTION

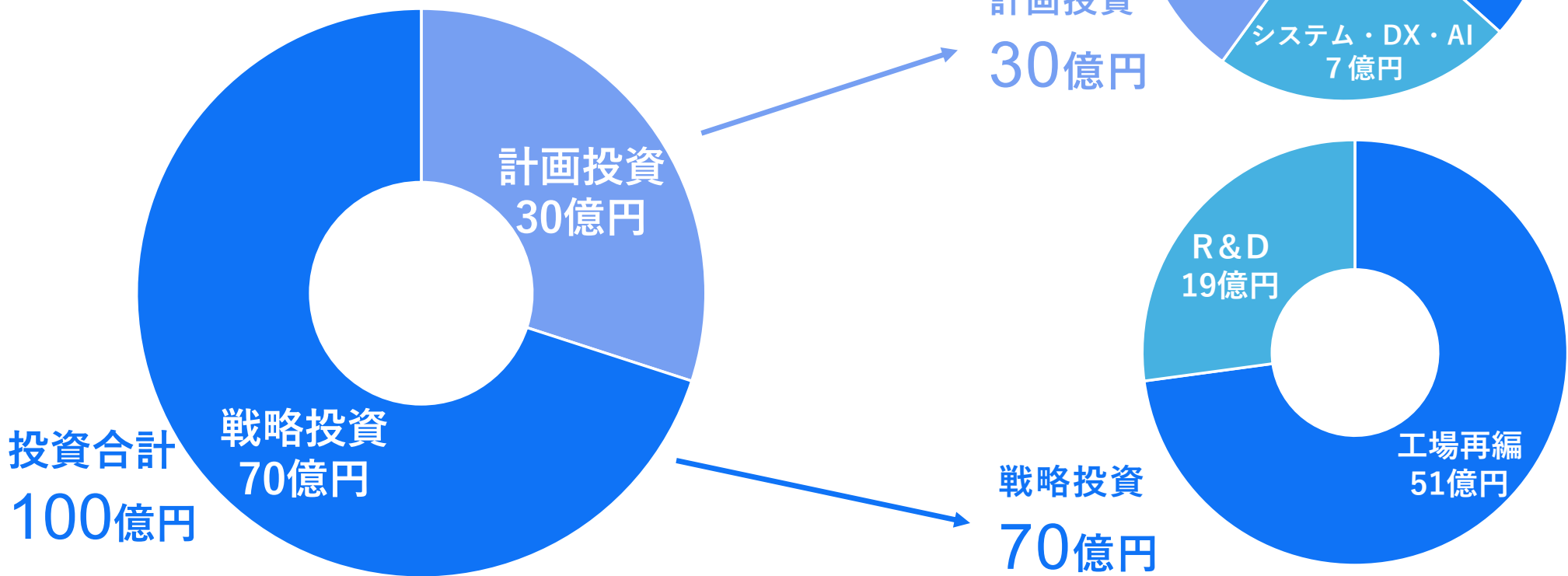
04

投資計画

04. 計画投資と戦略投資

収益実現のための製造関連投資、業務改革のためのDX・AIを含むシステム関連投資、新規事業への投資を合わせた計画投資30億円に加え、国内外での工場再編・再建によるさらなる合理化と事業拡大の推進、R&D投資による開発力強化など将来の収益につながる戦略的投資70億円を行う事によりグループの安定的な成長を目指す

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.



SECTION

05

サステナビリティへの取り組み

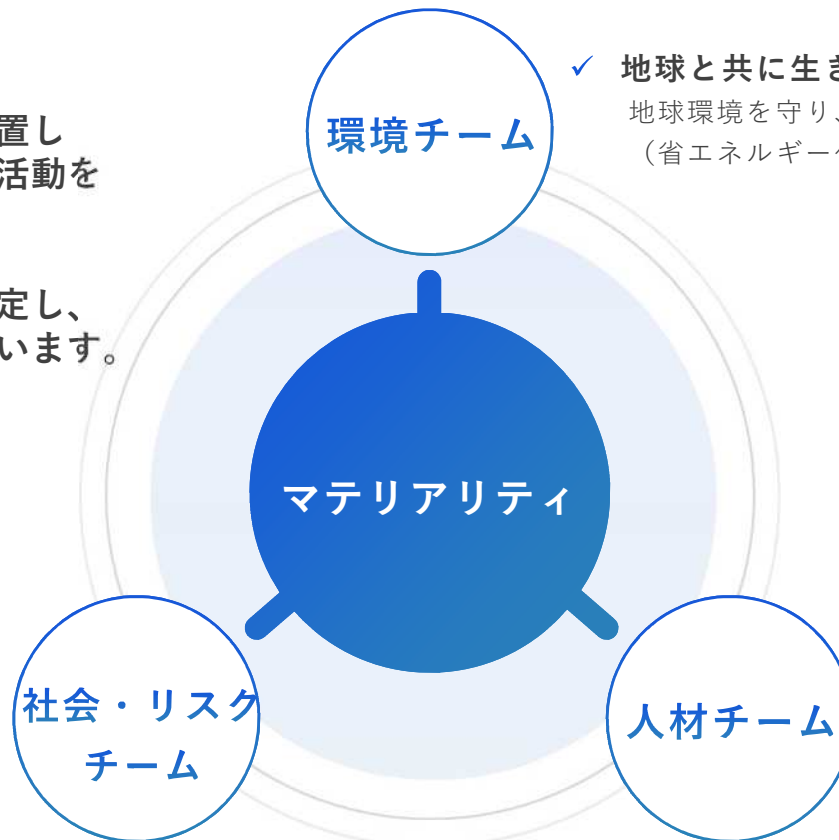
05. サステナビリティへの取り組み

©Nippon Pigment Holdings Company Limited.

サステナビリティ推進体制

持続可能な社会の実現に向け、日本ピグメントグループでは「サステナビリティ委員会」を設置しグループ全体のサステナビリティ活動を力強く進めています。委員会では、3つのチームを設け、重要課題（マテリアリティ）を特定し、その活動をより具体的に展開しています。

- ✓ 安心で信頼される企業であるためにより良い会社作りに貢献するとともに、事業を取り巻く様々なリスクに適切に対応致します。（働きやすい職場づくり、製品価値信頼性向上、サプライチェーンマネジメント、地域社会との調和など）



- ✓ 地球と共に生きる

地球環境を守り、美しい未来へつなぐための活動を推進します（省エネルギー化の推進、廃棄物削減、環境に配慮した製品開発など）

- ✓ 働くすべての人が輝くために

社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、いきいきと働ける環境づくりを目指します（人権の尊重、ダイバーシティの推進、働きがいのある職場環境の整備など）

05. サステナビリティへの取り組み

日本ピグメントグループは、未来の世代も安心して豊かに暮らせる社会づくりに貢献することを企業活動の大きな目標としています。

私たちは、この「サステナビリティ（持続可能性）」の考え方を大切に、グループ全体でその推進に取り組んでいます。



	マテリアリティ	GRIスタンダード	日本ピグメントグループの活動方針
環境	気候変動への対応	大気への排出	CO ₂ 削減 Scope 1（燃料の燃焼）と Scope 2（電力等）を対象とする
	環境に配慮した事業活動	廃棄物 生物多様性 水と廃水 エネルギー	産業廃棄物の削減（廃プラ） マングローブ植林 上水の使用量の削減 電力等の使用量の削減
	環境配慮商品の開発	原材料	環境配慮型の商品（エコ商品）の開発と販売の推進 ・リサイクル材 ・生分解性原料の採用 ・ライフサイクル（川下） ・CO ₂ 排出量削減商品の取り組みなど ダイボンディング材の販売（電力ロス削減）
社会・リスク	サプライチェーンマネジメント	サプライヤーの 社会面アセスメント	CSR調達の推進
	働きやすい職場づくり 労働安全衛生	労働安全衛生	労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS準拠）の管理運用 労働災害発生防止 リスクアセスメント・HHK活動 職場環境改善 従業員の健康維持 洗浄用有機溶剤使用量の削減
	製品価値信頼性の向上	—	品質改善活動ISO9001による品質の向上 顧客の安全衛生 生産拠点のクリーン化 工場のDX化に向けた取り組み
	地域コミュニティへの参画	地域経済での存在感	地域の環境保護活動や社会的な取り組みのサポート、協賛 環境への影響評価と地域への公開、地域住民との対話、地域の清掃
人材	人権尊重理念の実践	非差別	人権方針の策定・人権教育の継続
	ダイバーシティ推進	ダイバーシティと機会均等	ダイバーシティ推進 性別・年齢に関わらない全従業員の活躍 障害者雇用の取り組み 高齢者雇用への対応 ※高齢者にとって、働きやすいだけでなく働き甲斐のある職場を形成する
	働きがいの向上	研修と教育 雇用	人材育成 ワークライフバランスの推進

-
- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
 - 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。

Pigment

株式会社日本ピグメントホールディングス

